

原水爆禁止 2014 年世界大会 メッセージ

1945 年 8 月、広島と長崎に原子爆弾が投下されてから 69 年目の夏を迎える今年、被爆都市において原水爆禁止 2014 年世界大会が開催されますことは、大変有意義なことであり、敬意を表する次第です。

さて、核兵器廃絶を求める世界の情勢は、2013 年 9 月に初めて核軍縮に焦点を当てた国連総会ハイレベル会合が開かれ、これを受けた 12 月の国連総会では、核兵器に関する包括的条約の早期締結を求める議決等が採択されています。

また広島、長崎の被爆から 70 年の節目となる 2015 年には、核拡散防止条約再検討会議が開かれることとなっており、核保有国をはじめ全ての国の政府に、核兵器禁止条約の締結に向け、具体的な進展を求める動きが強まっています。

しかし、その一方で、「核の抑止力」への依存により今なお多くの核兵器が保有されていることも事実であり、平和を脅かす要因は後を絶ちません。

「非核・平和都市」を宣言した米原市では、市民の皆様とともに、戦争のない平和な社会、核兵器のない世界を求める訴えを今後も引き続き行うとともに、平和首長会議を通じて、世界の都市が国境を越えて連帯し、世界に核兵器の非人道性を訴え、核兵器の廃絶を求め続けてまいりたいと思います。

このような皆様の活動は、核兵器の廃絶と平和を願う多数の声として争いのない世界へとつながる大きな原動力となるものと確信し、あらためて平和な社会づくりに努力することが「非核・平和都市」を宣言した米原市の責務であるとの思いを新たにします。

最後になりましたが、御参会の皆様のご今後のますますの御活躍と御健勝を心から祈念申し上げ、原水爆禁止 2014 年世界大会へのメッセージといたします。

2014 年 6 月 27 日

滋賀県米原市長 平尾道雄